

講義名	公務員特別演習Ⅱ		
科目区分	特別研究		
担当教員	村上 友章		
開講期・曜日・時限	前期 金曜日 2時限	授業形態	
	2019年度 経済学部 経済情報学科 情報システムコース/2019年度 経済学部 経済情報学科 経済情報コース /2019年度 経済学部 経済情報学科 2019年度 経済学部 経済学科 地域まちづくりコース/2019年度 経済学部 経済学科 現代経済コース/2019年度 経済学部 経済学科		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		備考	

主題と概要			
<p>・公務員志望者のサポートを目的とした一連の特別演習（Ⅰ～Ⅵ）の一つである。</p> <p>この公務員特別演習Ⅱでは、調査・発表・ディスカッションを通じて、公務員の職種や仕事の実際、試験の仕組みや受験対策などを学び、希望職種の選定を行い、あわせて、特別演習Ⅰに引き続き「数的処理」に加え、同じく高得点が必要である「文章理解」、「時事問題」に必要な基礎力を習得したい。公務員を目指して勉学に励む学生には意義のある講義となる。</p> <p>・ただし、本授業は当分の間、オンラインの「課題学修型授業」で行われる。その間の授業のあり方については適宜、ポータルに掲示する。よく確認すること。</p>			

到達目標			
<p>・公務員の制度や仕組み、職種等につき詳しく知る。</p> <p>・公務員に関する理解を深めてモチベーションを高めて維持する。</p> <p>・希望する公務員の職種を選定し、具体的な試験対策を進める。</p> <p>・公務員試験で高得点が求められる「数的処理」「文章理解」「時事問題」の基礎力を習得する。</p>			

提出課題			
<p>・授業の後半に、各自に希望する公務員を選定してもらう。そのため、希望職種の詳細（仕事の内容や試験概要など）を調査し、授業内でプレゼンしてもらう。また、そのための資料も提出してもらう。</p> <p>・その他、適宜、授業中に指示する。</p> <p>・ただし、本授業は当分の間、オンラインの「課題学修型授業」で行われる。その間の授業のあり方については適宜、ポータルに掲示する。よく確認すること。</p>			

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック			
<p>・提出課題に対しては、授業中にコメントをしてフィードバックを行う。</p> <p>・ただし、本授業は当分の間、オンラインの「課題学修型授業」で行われる。その間の課題やフィードバックのあり方については適宜、ポータルに掲示する。よく確認すること。</p>			

評価の基準			
<p>・講義の中で実施する小テスト、発表、提出課題、授業参加態度によって評価する。</p> <p>・ただし、本授業は当分の間、オンラインの「課題学修型授業」で行われる。その間の評価のあり方については適宜、ポータルに掲示する。よく確認すること。</p>			

履修にあたっての注意・助言他			
<p>・本演習はあくまでも公務員試験に挑もうとする学生諸君を側面からサポートしようとするプログラムである。したがって、受講生には、公務員試験に係る正課授業（基礎情報B、民法、憲法、政治学、行政学等）を履修するなど、主体的に公務員試験対策を進めることが強く望まれる。</p> <p>・期末試験を実施せず、成績は授業期間内で全て評価される。毎回出席すること。</p> <p>・ただし、本授業は当分の間、オンラインの「課題学修型授業」で行われる。その間の注意・助言については適宜、ポータルに掲示する。よく確認すること。</p>			

教科書				
・公務員試験 現職人事が書いた「公務員になりたい人へ」の本、	大賀英徳	実務教育出版	1210	978-4788975934

プリント資料及び参考文献				
<p>・必要に応じて資料を配布する。</p> <p>・ただし、本授業は当分の間、オンラインの「課題学修型授業」で行われる。その間の資料は適宜、ポータルにアップする。よく確認すること。</p>				

授業計画				
<p>1、演習の概要説明</p> <p>2、公務員試験の最新動向</p> <p>3、現職公務員による講義</p> <p>4、公務員という仕事（1）</p> <p>5、公務員という仕事（2）</p> <p>6、公務員という仕事（3）</p> <p>7、時事問題と文章理解（1）</p> <p>8、時事問題と文章理解（2）</p> <p>9、時事問題と文章理解（3）</p> <p>10、数的処理の基礎（1）</p> <p>11、数的処理の基礎（2）</p> <p>12、数的処理の基礎（3）</p> <p>13、希望する職種についてのプレゼン（1）</p> <p>14、希望する職種についてのプレゼン（2）</p> <p>15、希望する職種についてのプレゼン（3）</p>				

授業形態（アクティブ・ラーニング）				
<input type="checkbox"/>	ア：PBL（課題解決型学習）			
<input type="checkbox"/>	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）			
<input type="checkbox"/>	ウ：ディスカッション、ディベート			
<input type="checkbox"/>	エ：グループワーク			
<input type="checkbox"/>	オ：プレゼンテーション			
	カ：実習、フィールドワーク			

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間				
<p>・本講義では、毎回の学習内容の復習や、次回内容についての予習が非常に重要である。予習と復習については、授業中（あるいはポータルを通じて）指示する。</p> <p>・公務員に関する発表が予定されているため、普段から公務員に関するニュース・情報に関心を持つこと。</p>				

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述				

実務経験の有無及び活用				

備考				
状況によって、授業計画は変更する可能性がある。あらかじめ留意されたい。				